

# 青森県立保健大学大学院健康科学研究科ディプロマ・ポリシー

(令和5年5月22日改正)

## 博士前期課程

大学院健康科学研究科博士前期課程では、本学の「ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成する」という理念のもと、所定の教育課程において修了要件となる単位数を修得するとともに、特別研究又は課題研究の成果として提出された学位論文の審査及び最終試験に合格し、コースワークやリサーチワークを通して、次の知識・能力を身につけた者に修士の学位を授与します。

## 修士（健康科学）

- (1) 豊かな人間性、高い倫理観並びに強固な責任感を持って、健康科学の学術研究や実践活動ができる。
- (2) 健康科学に関する諸課題に対して積極的に取り組み、科学的・理論的に分析し、課題解決できる。
- (3) 研究や実践活動で得た成果を社会に発信することで、社会への還元活動を行うことができる。

## 修士（看護学）

- (1) 豊かな人間性と看護学における専門的知識・技術と高い倫理観、並びに科学的思考法を活用し、保健、医療及び福祉における諸課題の明確化と問題解決ができる。
- (2) 論理的・科学的思考力を備え、保健・医療・福祉の現場における看護の現象や実践的技術に関する研究能力から、学術的な成果を発信し社会に貢献できる。

「CNS コース」では上記の(1)及び(2)に加え、次の知識・能力を身につけることを求めます。

- (3) 専門領域に精通した臨床判断に基づき、ケアとキュアを統合した高度な看護を実践できる。
- (4) リーダーシップを発揮して多職種・組織と連携・協働し、専門領域の看護実践の変革を推進できる。

## 修士（社会福祉学）

- (1) ソーシャルワーク実践に必要とされる高い倫理観と社会福祉領域における各種研究手法を身につけ、ソーシャルワーク実践の探究ができる。
- (2) 生活者や地域の抱えるニーズを、ミクロ・メゾ・マクロ的な視点から客観的に捉え、社会福祉政策を理論的に探究し、社会に発信できる。
- (3) 社会福祉各実践領域における理論を理解し、保健・医療・福祉・司法・教育・行政など、多様な関連領域との連携を踏まえ、ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点から言語化できる。

### 修士（公衆衛生学）

- (1) コア5領域（疫学、生物統計学、保健政策・医療管理学、環境産業保健学、社会行動科学）の知識と実践的技術を活用し、公衆衛生上の課題を科学的に分析、評価できる。
- (2) 多様な人々の健康課題の明確化とその背景要因を同定し、地域のさまざまな人々と協働、連携しながら、課題解決のための戦略的なコミュニケーションを駆使し、リーダーシップを発揮できる。
- (3) 保健・医療・福祉システムのあり方やシステム構築のプロセス、それらの現状と課題を把握し、社会的公平性をもとに、実務において創造的で革新的な企画・政策を考案できる。

### 博士後期課程

大学院健康科学研究科博士後期課程では、本学の「ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成する」という理念のもと、青森県立保健大学大学院学則に定められた教育課程の修了単位を修得し、特別研究の成果として提出された博士論文の最終審査に合格し、次に掲げる知識・能力を身につけた者に博士（健康科学）の学位を授与します。

- (1) 学際的・総合的な視点から研究を推し進めるための高度な専門知識や研究創造力
- (2) 保健、医療及び福祉の諸課題に対する深い理解と真理の探究に向けて、高い研究倫理性と強固な責任感を持って研究を推進し、その成果を社会に発信できる能力